

# ふおーふお通信



Vol.28 発行 2022年12月1日

<http://www.mpc-kodomo.sakura.ne.jp/fukurou/>

師走を迎え町に、ジングルベルの音が聞こえ出すと慌ただしい年の瀬となりますね。一年のしめくりをクリスマスなどでたのしみたいですね。そして、今年も1日点灯のイルミネーションもご覧ください。

ご連絡ごとはこちらへ。  
TEL.0858-22-0351

## 今月のおすすめ



### 『はたらくるまたらのクリスマス』

作：シェリー・ダスキー・リンカー  
絵：AG・フォード  
訳：福本 友美子  
出版社：ひさかたチャイルド

ショベルカー、ダンプカー、ミキサーシャは、クリスマスまでに仕事を頑張りました。迎えたクリスマスに日、車たちにピッタリのプレゼントが届きます。思わず歓声があがります。



### 『わたしのマントはぼうしつき』

作：東 直子  
絵：町田 尚子  
出版社：岩崎書店

ふちがふさふさのわたしのマントは帽子つき。あめがふっても雪がふってもいつでも一緒。熊さん、馬さん、ねこさんのリズムカルに運ぶ可憐なお話です。



## ～こんなコーナーが！～

ブックスタートはじまりから20年！を記念して図書館のおはなしの部屋には、展示コーナーがありました。12月からは、図書館入口でも展示されるそうです。12月6日までの展示です！



## クリスマス会は中止です

### クリスマスの夜の思い出

娘が幼児の頃に読み聞かせをしていた  
芭蕉みどりさんの絵本「ふゆのよるのおくりもの」



しばらくこの絵本から離れていた小学4年生のクリスマスの夜突然、脳裏をよぎったのか？寝る前にトレイに載せたクッキーと紅茶をツリーの下におき「サンタさんへ」と手紙を書きました。なんのまねかな？あれ？絵本の一コマ？だったかな、と思い出しこの絵本を取り出しページをめくりました。

そして、私は絵本と同様に震え字で「ありがとう」と書いて朝をむかえました。気づかれないようにはらはらどきどきしながら。

その次の年もそのまた次の年も、中学3年生のクリスマスまで続きました。そう、サンタさんの存在を知りながら空想の世界で、親子で遊んでいました。いや、遊ばれていたのか？

そんな思い出がとても懐かしく、嬉しい時期を過ごした大切な娘との思い出です。

by なごみママ

## きこさまクッキーをつくろう

20年来、クリスマス会に添えていた「きこさまクッキー」です。今年も、是非、おうちで焼いてみてね。レシピ公開！！



### ■材料

マーガリン・・・225g  
クルミ・・・100g(細かく砕く)  
小麦粉・・・300g  
パウダー シュガー・・・70g  
塩・・・小さじ4/1

### ■作り方

- ①クルミを細かく砕く
- ②小麦粉と塩を混ぜ合わせる。
- ③マーガリンを常温で柔らかくして、小麦粉、パウダーシュガー（最後にふる分だけ残して）、クルミを混ぜて直径1.5cm位にまるめる。
- ④200cのオーブンで10分焼く。(く白っぽい色です)
- ⑤冷めたら、パウダーシュガーをふります。

### ★一言メモ

お友達のお宅にお邪魔するとき、小さな袋に入れてリボンをかけて持っていくと、かわいいですね。



### 「たべることはくむこと 食育」 管理栄養士 石賀安枝さん

日本海新聞に、連載中です。わかりやすいためになる食についてのお話ぜひご覧ください。